

令和6年度第2回涌谷町地域公共交通会議 議事録

1 日時

令和6年8月2日（金）午前10時30分から午前11時25分まで

2 場所

涌谷町役場 本庁舎二階 大会議室

3 議事録

（事務局）本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。会議を始める前に配布資料の確認をお願いいたします。

【配布資料の確認】

不足等ございませんので、ただいまから令和6年度第2回涌谷町地域公共交通会議を開催いたします。

本日は、本会議の会長である、涌谷町長遠藤稔雄が公務のため、欠席しております。

つきましては、涌谷町地域公共交通会議設置要綱第5条第3項の規定により、宮城大学教授徳永幸之委員を職務の代理として指名しておりますので、徳永委員に会議の総括をお願いいたします。

では、会議の開始に先立ちまして、宮城大学教授徳永委員からご挨拶をお願いしたいと思います。徳永委員をお願いいたします。

（徳永委員）本日は、お暑い中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

公共交通計画策定に向けて委託事業者様も決まり、動き出しというところで、その計画と今後の実施方針について、各委員の皆さんの様々なお立場から、忌憚のないご意見をいただきながら進めていければと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

（事務局）ありがとうございました。それでは、この後の進行につきましては、会長代理の徳永委員をお願いしたいと思います。徳永委員をお願いいたします。

（徳永委員）遠藤会長の代わりに議事進行を務めさせていただきます。今後の進行について、皆様には協議の円滑な進行にご協力をお願いいたします。

（1）涌谷町地域公共交通計画策定業務委託の契約について事務局より説明をお願いいたします。

（事務局）涌谷町地域公共交通計画策定業務委託の契約について、事務局より御説明いたします。資料1を御覧ください。

4月1日に書面開催いたしました、令和6年度第1回涌谷町地域公共交通会議で御審議、御承認いただきました、涌谷町地域公共交通計画策定業務委託の公募型プロポーザルについて、実施したところ、6者から申し込みがあり、審査会を実施し、契約業者を選定した結果、中央コンサルタンツ株式会社仙台支店と6月12日付で本業務について、委託契約を締結いたしました。

業務の目的について、説明いたします。昨年度の会議でも御報告しておりますが、本業務の目的は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、涌谷町の地域公共交通施策のマスタープランとなる「涌谷町地域公共交通計画」を策定するために、町民の移動実態、ニーズ等の調査の実施により、涌谷町における地域公共交通の課題の整理や基本方針、地域公共交通に関する施策、実施主体について検討し、計画のとりまとめを行うことを目的としております。

業務概要については、記載のとおりです。

2. 業務のフローチャートについて、御説明いたします。本業務の進め方は、記載のフローチャートのとおり、主な業務として3項目ございます。1点目、地域特性、公共交通の現状の整理、2点目、町民の移動実態、ニーズ等の調査、3点目、涌谷町地域公共交通計画案のとりまとめです。

以上の項目について、涌谷町地域公共交通会議をコントロールポイントとして、適切に業務を進めていきます。

各項目の内容については、次ページより説明いたします。

3 ページを御覧ください。地域特性・公共交通の現状の整理について、御説明いたします。

主な項目として、4つございます。1つ目、人口動向、人口流動の把握、2つ目、施設立地状況等の把握、3つ目、町内地域公共交通の整理、4つ目、上位関連計画の整理、これらの項目について国勢調査の結果、GIS データ、KDDI のビックデータ等の既存の資料から、整理を実施していきます。

なお、報告事項2「涌谷町における地域公共交通に関する現状分析結果について」にて、現段階の整理状況について、御説明いたしますので、内容の説明については省略させていただきます。

4 ページを御覧ください。町民の移動実態、ニーズ等の調査について、御説明いたします。町民の生活行動に基づく公共交通サービスの最適化と公共交通の利便性向上、需要の深ぼりに向け、調査対象に応じて、最適な調査方法を選定し、だれがどこからどこにいつ移動しているか等の移動実態やニーズ等について、把握することを目的として、記載の調査を実施します。

調査項目としては、住民へのアンケート調査、町民バス利用者への調査、高齢者への訪問調査、高校生へのアンケート調査、地域住民との意見交換会の開催、関係機関に関する調査等を実施予定です。

なお、協議事項1「各種調査の実施方針について」にて、実施予定の調査の方針、内容等について、御意見を頂戴できればと考えておりますので、内容の説明については、省略させていただきます。

6 ページを御覧ください。涌谷町地域公共交通計画の案のとりまとめについて、御説明いたします。

本業務の今年度の目標である計画の策定に向けて、主に4項目の整理、検討すべき事項があり

ますので、それぞれの項目について、御説明いたします。

まず、1つ目の項目は地域公共交通の現状、課題の整理についてです。本項目では、先ほど御説明しました、現状分析結果及び町民の移動実態、ニーズ等の調査の結果を踏まえ、涌谷町の地域公共交通の現状を整理し、涌谷町が抱える解決すべき課題を多角的に分析し、整理をいたします。

7ページを御覧ください。2つ目の項目は、基本方針、計画目標の検討についてです。

本項目では、持続可能な利用され続ける涌谷町の公共交通網の再構築に向けて、法改正の趣旨に基づく内容や前項の課題等を踏まえ、今後の涌谷町の地域公共交通のあり方を示す基本方針及び計画目標について検討します。基本方針については、記載の4つの視点を踏まえ整理、検討を行っていきます。

3つ目の項目は、施策、実施主体の検討についてです。前項で検討した基本方針、計画目標を達成するための事業を検討し、緊急性・事業の優先順位等を整理します。

なお、実際に施策を実施していただく、実施主体の交通事業者の皆様とは丁寧に打合せの上、調整させていただければと考えておりますので、御協力をお願いいたします。

4つ目の項目は、達成状況評価に関する事項の検討についてです。前項で検討した、施策等に関して、やりっぱなしで終わるのではなく、その評価指標及び目標値について検討します。また、次年度以降も本会議内での継続的な評価とスパイラルアップによる効果的な施策展開を見据えて、計画期間内である、令和12年度までのPDCA計画を取りまとめるとともに継続的な評価スケジュールを作成していきます。

8ページを御覧ください。涌谷町地域公共交通計画の作成についてです。先ほど御説明した、4つの項目を踏まえた、涌谷町地域公共交通計画を作成いたします。計画書の作成に当たっては、町民にとって分かりやすく利用者層に応じた計画のパンフレットの作成等を行い、涌谷町の公共交通施策について、広く周知を行い、さらなる公共交通の利用促進に努めます。

9ページを御覧ください。業務のスケジュールについてです。表のとおり、10月までに主な調査を完了させ、11月までに計画の素案作成を予定しております。なお、今回の会議は、素案作成後の11月下旬ごろを予定しております。

涌谷町地域公共交通計画策定業務については、以上のとおり、実施していく予定としております。駆け足になり、わかりにくい部分もあったかと思いますが、以上で、涌谷町地域公共交通計画策定業務の契約についての説明を終わります。

(徳永委員) それでは、ただいま説明のありました、このことについて、御質問をお願いいたします。

(徳永委員) 私から質問します。3ページの上位・関連計画の整理の図について、関連する施策との矢印が一方的ですが、これは相互するものですので、両矢印が良いかと思えます。

また、都市計画について、記載がありません。まちづくりと公共交通は関連性が深いものですので、記載いただければと思います。

(事務局) 承知しました。ありがとうございます。

(高橋委員代理) 興味での質問で恐縮なのですが、2ページのビックデータを活用した分析について、

先進的な取組であると思うのですが、こちらのビックデータというのは、RESASなどの広く公開されたものを活用するのでしょうか？それとも、涌谷町に特化したデータを購入して分析するのでしょうか？

(事務局) KDDI から購入したものを分析します。

(高橋委員代理) 涌谷町周辺のデータを購入して分析するということでしょうか？

(事務局) KDDI では、全国でのデータがあるので、涌谷町をピックアップしたデータを解析していきます。

(高橋委員代理) 人流データは、鉄道と自家用車利用では分けられると思うのですが、自家用車とバス利用では分けられるものなのでしょうか？

(事務局) 自家用車とバス利用の属性では分けられないかと思います。

(徳永委員) ほかに何かありますか？

(熱海委員) 4 ページの住民アンケートの調査のところで、QR コードを用いての調査を実施することなのですが、公共交通は主に高齢者の方の意見が重要だと思います。QR コードでは、高齢者がなかなか回答しづらいと思いますが、そのあたりのサポートはあるのでしょうか？

(事務局) 後ほどご説明いたしますが、こちら QR コードを用いた WEB アンケートとの記載もごさいますが、調査票を 1500 部郵送し、紙でも回収いたします。QR コードを用いた WEB 回収は、広報誌や HP などに記載し、追加での回収を狙うものです。

(熱海委員) アンケートに関して、無作為抽出とありますが、10 代 20 代の意見も重要だとは思いますが、免許を返納し、公共交通が必要な高齢者のデータが重要視されるべきだと感じます。

そのあたりを考えて調査を実施していただければと思います。

(事務局) アンケート対象の抽出については、現在、作業中ですので、年代でどのような割合が適切か検討し、アンケート調査を実施していきたいと思っています。

(徳永委員) それでは、(2) 涌谷町における公共交通の現状についてに移ります。事務局より説明をお願いします。

(事務局) 現段階での涌谷町の公共交通に関する現状分析結果について、事務局より御説明いたします。

資料 2 を御覧ください。昨年度の会議と内容が重複するところもありますが、御容赦願います。

(1) 涌谷町の地勢についてです。記載の標高分布図からわかるように、涌谷町は丘陵地と平地からなっており、町の中心の筥岳山は北に急な傾斜を、南に緩やかな傾斜となっています。

(2) 土地の利用状況についてです。記載の土地利用現況図からわかるように、涌谷町の土地利用は、筥岳山を含めた森林及び農地が 7 割と多くを占めており、涌谷駅を中心として建物用地が広がっており、筥岳山の周辺に集落の形成がみられます。

(3) 人口動向についてです。記載の人口の推移からわかるように、涌谷町では、人口減少と少子高齢化が進んでいます。20 年後の 2045 年には、人口が、現在から 35% 減少し、8,97

9人で、高齢化率は49.9%との推計となっています。

また、人口の分布では、人口密度及び高齢化率のメッシュ図をご覧ください。こちらは、1ヘクタール当たりの人口密度及び高齢化率を示す図形です。メッシュ図からわかるように、涌谷駅を中心として人口が集中しており、中心地以外については、1ヘクタール当たりの人口密度が10人以下のところが多くを占めています。

一方で、高齢化については、地区ごとでの違いはあまりなく、町全域で進行しています。

(4) 近隣市町村への移動特性についてです。通勤・通学流動図をご覧ください。こちらは、近隣市町村との通勤および高校生の通学における流入、流出を示す図であり、涌谷町から出ていく矢印が流出、涌谷町に向かう矢印が流入する人数を示す図形です。

通勤・通学ともに町内流動が最も多くなっていますが、町外に対しては、流入より流出が多くなっており、通勤については、隣接する大崎市、美里町、石巻市との交流が多く、通学については、石巻市及び仙台市への通う学生が多くなっています。

(5) 主要施設についてです。主要施設の分布状況図をご覧ください。こちらは、町内における公共施設や商業施設、金融施設、観光施設等の主な施設の分布状況を色ごとに示す図です。図からわかるように、主要施設については、涌谷駅周辺及びバイパス沿いに集約しており、町民バスの共通区間に多く立地している状況となっています。

しかし、それ以外の地区に関しては、施設が少ない状況であり、買い物や金融機関などのお出かけに関しては、涌谷駅周辺や登米、石巻等に出ていることが推測されます。

2ページをご覧ください、2公共交通の現状(1)町民バスについてです。

涌谷町の町民バスは、平日のみの運行で、7路線で一日36便を運行しております。

また、町民バスの利用者の推移からわかる通り、町民バスの利用者は、年々減少しており、2014年度から2023年度の10年間でおよそ47%減、半数近く利用者が減っている状況となっていますが、2010年から2020年の10年間で人口減少率が約12%であることから、人口減少のみを原因とするものではないと推測されます。

また、バスの利用圏域図をご覧ください。こちらは、バス停又は、フリー乗降区間のバスの乗り降りができる場所から、300m以内をバス利用圏域として示す図です。町民バスの人口のカバー率は74%となっており、主な図の赤い範囲で囲んだ箇所が主な交通空白地となっています。

ただ、図では面的なカバー率を示しているだけですので、バス路線までの坂道や河川を横断する場合やバスの時間的に利用しにくい等の要因により、カバー圏域の住民であっても公共交通が不自由なく使えるとは言えない状況です。

(2) 鉄道についてです。

町内には、石巻線、気仙沼線の2路線運行しており。石巻線が上下約20本、気仙沼線が上下約10本運行しております。

利用者については、コロナ前の乗客者数のデータしかありませんが、涌谷駅の利用者が1100人程度で推移しており、あまり大きな落ち込みはなく、高校生等の涌谷町民を支える交通手段となっていると推測されます。

また、路線別平均通過人員からわかるとおり、水色と青色の東北本線については、コロナ禍で落ち込んだ利用者数が徐々に回復しておりますが、石巻線及び気仙沼線に関しては、コロナ禍で

落ち込んだ利用者数が、回復していない状況が続いており、利用者が戻ってきていない状況となっています。

(3) タクシーについてです。

町内に本店、営業所を置く、タクシー事業者は、本日出席いただいている、有限会社南郷タクシー様のみとなっております。なお、御承知のとおり、南郷タクシー様は、美里町の南郷地区のデマンドタクシーを運行されており、町民の移動を支えていただいております。

(4) 公共交通に関する収支状況についてです。

図では、町民バスの収支率と、町民1人当たりの負担額を示すグラフです。図からわかる通り、収支率及び負担額については、年々悪化しており、このままの運行を続ければ、今後も人口減少等の要因により悪化傾向が続くと推測されます。

現在は町民バスの運行に関して、単純計算で、町民1人当たり2,867円を負担していただいている状況となっております。

(5) 運転免許の保有状況についてです。

涌谷町では、高齢者の免許返納者数は、2020年以降横ばいで推移していますが、全年代、高齢者どちらの運転免許保有率も県平均より高くなっており、特に高齢者に関しては、0.6ポイントも高く、自動車での移動に依存していると考えられます。

現状分析及び問題点の整理については、今後も継続して実施してまいります。以上で、涌谷町の公共交通に関する現状分析結果についての説明を終わります。

(徳永委員) 御意見、御質問ございませんでしょうか？

(高橋委員代理) 町民バスの利用者利用率の推移で人口減少比率より減少率が大きいと説明がありました。今後、詳しい分析をしていくとは思いますが、現時点で分かっている要因等があれば教えてくださいたいです。

(事務局) まだ、推測でしかないのですが、近年、涌谷高校の生徒数が大きく減少しており、それが要因の一つであると考えられます。詳しい要因につきましては、今後、路線別の分析を行いますので、その中で分かれば御報告を差し上げます。

(徳永委員) 他市町村の例ですが、人口は減少しているが、高齢者が増加あるいは微減で推移しているところが多いのですが、その中で免許を持たない高齢者がどんどん少なくなっている状況であります。免許を持った高齢者と公共交通との関係性等も見ていかないのではないかと感じます。

そのほかございませんか？

分析についても、バス停ごとや路線ごとにデータを見ていったときに問題点がいろいろと見つかることが想定されますので、引き続き分析をお願いしたいと思います。

(徳永委員) それでは、協議事項に移ります。「各種調査の実施方針について」事務局より説明をお願いします。

(事務局) 各種調査の実施方針について、事務局より御説明いたします。資料3を御覧ください。

本項目では、涌谷町の地域公共交通の移動実態やニーズ等を把握することを目的として、今後

実施する、調査の目的及び内容等について、説明いたします。

説明後に委員の皆様からご意見を頂戴した上で調査を実施いたしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(1) 住民アンケート調査についてです。公共交通の利用有無にかかわらず、公共交通に関する幅広い町民の意向を把握することを目的として実施します。

調査対象は、18歳以上の町民から無作為に1500人程度抽出して、アンケート用紙を郵送し、調査を実施いたします。また、追加で町広報誌、ホームページ等にて回答フォームのQRコード等を掲載し、WEB回答にてアンケートを回収することを想定しております。

調査項目については、回答者の属性、自家用車による送迎の状況、目的別の外出状況、公共交通の利用状況、公共交通に関する満足度、バス等の財政負担等を予定しております。

なお、アンケートの内容については、資料4のとおりを予定しております。項目の詳細な説明については、会議時間の都合上、割愛させていただきます。

2ページをご覧ください。(2) 町民バスの利用者等に関する調査についてです。本項目では、町民バス利用者、町民バスの主な利用層である、高齢者及び高校生の声を把握することを目的としており、実施項目として3つございます。

1点目、一般利用者への調査です。町民バスの利用者の生の声を抽出し、路線ごとの課題を把握することを目的として実施します。

調査方法は、町民バスに調査員を配置し、乗降調査及びアンケート調査を平日2日間程度で実施します。アンケート調査については、利用者の特性を分析するため、調査員から乗客に手渡しで配布し、調査員が回収します。記入が難しい方については、聞き取りにより調査を実施します。

調査項目は、回答者の属性、町民バスの利用状況、町民バスの利用における改善点等を予定しています。アンケート内容等については、今後、調製いたします。

3ページを御覧ください。2点目、高齢者への訪問調査です。交通空白地などの公共交通の利用が不便な地域に住んでおり、自らの移動手段を持っていない高齢者の生の声を抽出し、潜在的な公共交通の需要を把握することを目的として実施します。

調査対象は、潜在的な公共交通の需要を把握することが目的ですので、調査や福祉部門等との連携により、把握した交通弱者や交通不便地域の高齢者を対象とする予定です。

調査方法については、今後検討いたしますが、交通が不便な高齢者世帯への訪問での聞き取り調査や高齢者の交流会の活用などを予定しています。

調査項目は、回答者の属性、普段の外出状況、公共交通の利用状況等を予定しています。

3点目、高校生へのアンケート調査です。主な利用のひとつである、通学における公共交通の利用状況や改善要望について把握することを目的として実施します。

調査対象は、現役の涌谷高校生に加え、将来的な通学需要を把握するため涌谷中学校の3年生も調査対象といたします。

4ページをご覧ください。調査項目は、中学3年生に向けては、中学校卒業後の移住意向、涌谷高校生に向けては、普段の通学状況、通学時の公共交通の利用状況等を予定しています。

(3) 地域住民との意見交換会の開催です。公共交通に関する課題整理や各種調査の分析結果

を踏まえ公共交通ネットワークを作り上げるための体制づくりを行うため、各地域の住民と対面での意見交換をすることを目的として実施します。

地区別の意見や課題を把握するため、西地区、東地区、箕岳地区の3地区で実施することを予定しておりますが、抽出された課題等により、さらなる開催が必要であると判断された場合は、追加での開催も検討いたします。集約された地域公共交通の課題等を地域住民と共有し、ご意見を頂く形の意見交換会を想定しています。

また、開催に当たっては、行政区長会をはじめ皆様の御協力等が必要となること、想定されますので、その際はよろしくお願いいたします。

5ページをご覧ください。(4) 関係機関に関する調査についてです。各事業者や行政部署等の関係機関からみた公共交通の課題や事業の実現性等を抽出し、施策や実施主体等の検討に反映することを目的として実施します。

調査対象は、記載の関係機関等を予定しており、本日、ご出席いただいております委員の皆様にもご協力をお願いすることとなりますので、よろしくお願いいたします。ヒアリング内容は、団体ごとに異なりますが、書面ヒアリング及び対面でのヒアリングを想定しております。

駆け足の説明になり、分かりづらいところもあったと思いますが、各調査概要についての説明は以上になります。皆様のご意見いただければと思いますので何卒よろしくお願いいたします。

(徳永委員) ありがとうございます。委員の皆様から積極的にご意見いただければと思います。

(小野委員) アンケートの1500部程度というのは、高校生等の学生も含まれるのでしょうか？

(事務局) 18歳以上の町民を対象としております。

(小野委員) 地域で意見が結構差があると思いますので、一つの地区の意見が反映されないように、検討していただければと思います。

(事務局) 地区別については、居住人口の割合でアンケートを送付することを想定しております。

(徳永委員) 地区別での分析をすることになりますと、一地区できれば100票以上の回答がほしいところであります。人口の比率で調査をすることになりますと、人口が少ない箇所では、回答がほとんど集まらないような状況になりますので、人口が少ない箇所に多めに配る等の配慮が必要かと思われる。

また、先ほど話が出ましたけれども、年齢についても高齢者を多めに配分して実施していただければよいかと思えます。

(事務局) 承知いたしました。検討いたします。

(徳永委員) 中学校のアンケートについてですが、中学生の進路となるともう少し後になってから実施した方が、進路が決まるのではないかと思います。なので、スケジュールが許す限り後ろ倒して実施した方が現実感をもって回答していただけるのではないのでしょうか？

(事務局) 涌谷中学校とも調整した上で、調査の時期については、検討してまいります。

(徳永委員) 高齢者の利用についての調査については、実際に高齢者を抽出して調査するのが、大変な

のかなという印象です。区長さん等に協力を仰ぎながら工夫して調査を実施していただければと思います。

(事務局) 高齢者の調査に関しては、本日まで出席いただいている、行政区長会、民生委員協議会や福祉セクションの協力を頂きながら調査を実施してまいりたいと思います。

(小野委員) 4ページに地域説明会の実施イメージという写真があるのですが、実際バスの利用者は、免許がなく、かなり高齢の方が多く実際にこういう席に来れるか疑問です。その時には、区長さんや民生委員などにも来ていただくのが良いのではないかと思います。

あと、今回の会議で扱ってよいのか分かりませんが、スクールバスに関してですが、2キロメートルまでで、その前後で乗れる人乗れない人が分かれるという状況だそうです。そういった状況ですので、バスの乗車人数や要件で難しいこともあるかとは思いますが、同じ地域であれば乗っていただく等の配慮をしていただければと思います。

(事務局) ありがとうございます。スクールバスに関しては、直接、地域公共交通会議での議論はしない想定ではありますが、運行している教育総務課に対しては、ヒアリング等の中で、そのような意見があったと、話をしていきたいと思います。

(徳永委員) スクールバスに関しては、直接、計画の中に盛り込むことはないと思いますが、関連する輸送サービスということで、現状どうなっているかの整理をしていただければと思います。あと、スクールバスに限らず送迎バスや福祉系のサービスも含めて町内でどのような移動サービスがあるか網羅しておく必要があります。

近年の公共交通計画では、移動手段の総動員という視点もあります。場合によっては空き時間の有効活用であるとか、どれをどの輸送サービスが担っていくのかなどの分担についても整理する形になると思います。

(事務局) そのあたりも含めて調査を実施していきたいと思います。

(小野委員) あと高校生の送迎についてですが、今かなり生徒数が激減してまして、このままだとさらに少なくなってくると思います。そういった中で、バスに関して生徒が多いままの状況で運行し続けるというのは、業者の負担もありますし、いかがかなと思います。

(事務局) 利用状況の変化に応じてのダイヤ編成については、いずれ必要になるかと思いますが、状況を注視しながら検討してまいります。

(徳永委員) なかなか厳しいスケジュールのため調査については、なかなか大変かと思いますが、よろしくやっていただきますようお願いいたします。

本議題については、議事となっておりますので、決議を取ります。本議事に賛成の方は挙手をお願いします。

【委員全員挙手】

(徳永委員) 全員賛成とのことですので、承認いたします。今後の調査について、よろしくお願いいたします。

それでは、次のその他でございます。「高齢者の運転免許返納者支援実証事業について」事務

局からご説明をお願いいたします。

(事務局) 高齢運転免許自主返納者タクシー券助成実証事業の実施について御説明いたします。資料5を御覧ください。

涌谷町では、資料のとおり、65歳の運転免許自主返納者にタクシー券の助成事業を実証実験として実施します。

本事業は、国土交通省が実施する「高齢者の免許返納の促進に向けた地方公共団体による効果実証調査」を活用し、高齢者の運転免許の返納促進の効果測定等を行うことを目的として実施し、今年度の財源については、全額国費での実証実験事業となります。

対象者は、国補助事業の制度設計の都合により、65歳以上の町民で運転免許証を自主返納された方とし、失効した方やもともと免許を持っていない方は含みません。

タクシー券については、1枚で500円の助成とし、1回の乗車でタクシーの利用料金が、初乗りから1000円未満で1枚、1000円以上、2000円未満で2枚、2000円以上で3枚利用できることとしております。

交付枚数については、一か月8枚計4000円分のタクシー券を配布する事とします。

申請方法については、運転免許返納時に交付される、運転経歴証明書、申請による免許の取消通知書を添えて企画財政課宛てに申請し、交付することといたします。

留意事項についてです。利用期限は、令和7年2月28日までで、今年度に関しては、利用できるタクシー事業者は南郷タクシー様のみで、乗降車のいずれかが涌谷町内にある場合にのみ利用できるものとしております。本事業は、9月2日から開始し、9月号の広報及びHP、行政区長会等での周知を行う予定としております。簡単ではありますが、以上で説明を終了いたします。

(徳永委員) このことについて御意見、御質問ございますか？

(遠藤委員) 涌谷町の免許返納者はだいたい何人くらいいるのでしょうか？

(事務局) 資料2に記載がございますが、一年でおおよそ40名程度が免許返納しております。こちらは警察で公表しているデータになります。また、現在、免許返納者に対して町民バスの無料券の配布を行っておりますが、こちらに関しても継続して実施してまいります。

(徳永委員) こちらは、免許返納時のみの交付ということでしょうか？

(事務局) 過去の返納に関しても、対象としております。

(徳永委員) そうすると、一度返納すればずっとこの事業の対象となるということでしょうか？

(事務局) 本事業については、実証実験事業でございますので、今後、補助率の変更による、財政状況等を加味しながら、事業の継続実施や対象者、内容の変更については検討しなければいけないと考えております。また、今後地域公共交通計画の中で検討される施策とのバランスを含め、事業の実施については、検討してまいります。

(徳永委員) タクシー助成については、交通会議の議題なのか市町村でも分けられるところですか。ほかの市町村では、議題にかけていたり、かけていなかったりする状況です。運輸局としては、会議に上げないといけないなどはないですよね？

(関澤委員) そうですね、会議にかけている例としては、デマンドタクシーを対象に含む場合などが多いと思います。すでに免許返納者やそうでない方にタクシー助成をしている場合は協議にかけることは少ないかなと思います。

(徳永委員) あと、利用方法で少し気になったのが、1000円以上であれば2枚まで使えるので、利用料金が1000円くらいであればほぼほぼ全額助成されるので、そのあたりの切れ目がどうなのかなという気がします。

(事務局) 他市町村では、半額助成等で実施しているところが多いのですが、初年度の実施ですので、精算の手間等を考慮して、このような制度設計にしております。今後の実施方法については、走りながら調整していく形になるかと思います。

(徳永委員) それと留意事項の乗る場所降りる場所の表が若干見づらいので図で示した方が分かりやすいかなと思います。

(事務局) 修正したいと思います。

(徳永委員) ほかにございませんでしょうか？では、事務局に進行をお返しします。

(事務局) ありがとうございます。次回の会議でございますが、先ほどご説明差し上げました通り、11月下旬から12月上旬頃を想定しておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは以上をもちまして第1回令和6年度第2回伊達町地域公共交通会議を閉会いたします。